

宮城学院女子大学・現代ビジネス学科・土屋ゼミ みんなが楽しめる街・泉中央を目指して

活動報告1 現場でのバリアフリー学習

9月12日、仙台バリアフリーツアーセンターの伊藤清一さんをお呼びして車椅子の方々向けのバリアフリーマップ作成のポイントをお聞きました。講習会のあと泉中央に出かけ、車椅子体験もしながら、現地調査の方法、ポイントを確認しました。



活動報告2 バリアフリーマップの収集と分析

授業のなかで、全国の大学HPでダウンロードできるバリアフリーマップを収集しました。こうしたマップは特定のハンディキャップに特化したものではなく、汎用性を重視したものが中心でした。やはり1つのハンディキャップに特化したマップ作りをしていく必要があることを確認しました。

活動報告3 現地調査

11月18日、メンバーが手分けして現地観察を行いました。スマートフォンで写真を撮影しバリアフリーマップ用のコンテンツとして収集しました。この時はハンディキャップの種類にこだわらず、バリア情報を収集していきました。



泉中央地区はなだらかな坂となっている大きなバリアではないが



車椅子からの視線は低いので、館内案内の位置が高く見づらい



スロープの中には急で踊り場がないので非常に登りづらいものがある



多目的トイレの写真をマップに載せることによって利用される方に情報が伝えられる。利用者の方の判断材料として写真は重要

活動報告4 マップの作成法に関する学習

当初、紙媒体で作成することを検討しましたが、スマートフォンなどが普及している現在ではウェブサイト版を作成したほうが使い勝手がいいのではないかと考えました。ウェブサイトの作成法について、コスト面や使い勝手等について検討しました。

今後の活動予定

現状ではこのようにまだバリアマップ作成の構想、準備段階しか進んでいません。まずは車椅子の方々向けのマップ作りを進めていきたいと思えます。マップ作成のノウハウが確立した後は他のハンディキャップ用も作成していきたいと考えています。車椅子向けマップでは、各飲食店での受け入れ状況（座席は確保できるのか、トイレの状況など）を含めたものにしていきたいと考えています。

メンバー 宮城学院女子大学現代ビジネス学科・土屋純ゼミ

菊地祐里子 国分茜 石津萌 大泉さくら 小野寺美咲 佐々木夏輝 鈴木理沙 千葉史佳

サンプルイメージマップ 車椅子対応エレベータ

